

ナナシ  
774プロジェクト通信  
2021.01 創刊号

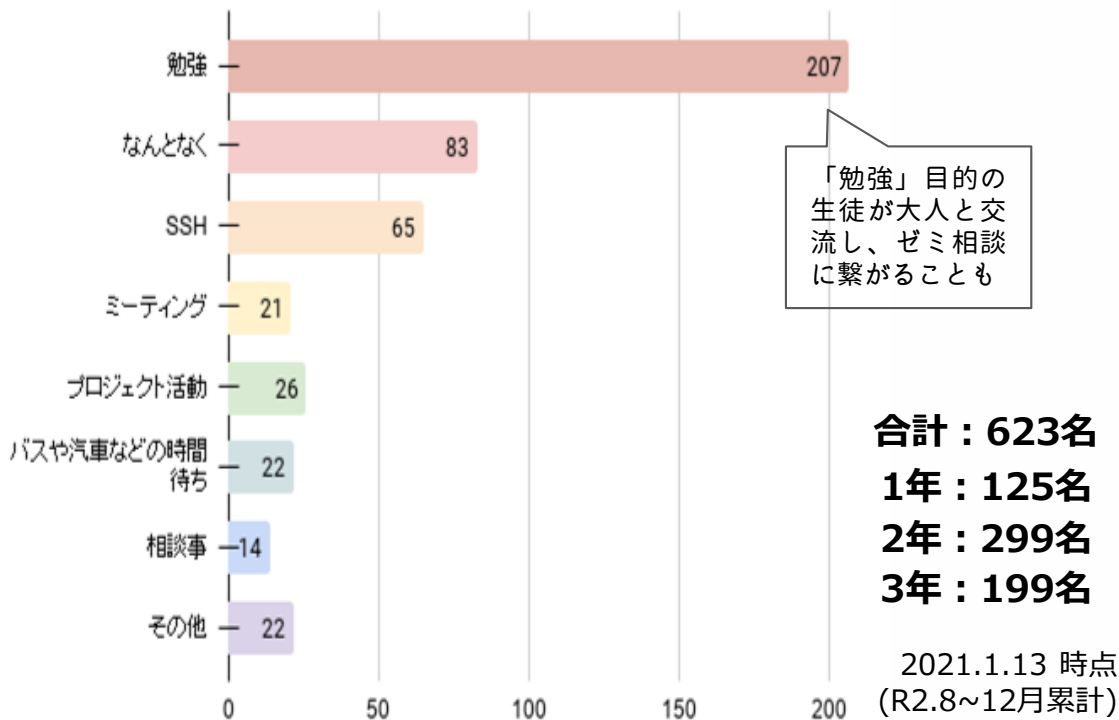


毎週火曜日・木曜日の放課後、セミナーハウスを利用して、釜高生と地域がつながる場づくりが“官民学（釜石高校・地域団体・釜石市）”連携プロジェクトとして昨年8月から始まりました。

SSHのゼミ活動や地域活動のミーティング、勉強スペースとして利用したり、バスや電車の待ち時間に立ち寄る等、過ごし方は自由です。先生方の紹介や774のイベント参加を通じてのつながりから、生徒たちは学校を飛び出し地域のイベントに参加したり、ゼミ活動の実践をしたりし始めています。

774プロジェクト通信では、セミナーハウスでの様子や、地域での生徒たちの活動について、定期的に発信していきます。

### 利用状況



「勉強」目的の生徒が大人と交流し、ゼミ相談に繋がることも

### 地域の大人との窓口機能

#### 【いままでの活用例】

- イベント・ボランティアなどの案内  
→国際交流系、防災教育、地域活性化など...
- 繋がりのある大学の授業見学や大学生との交流
- 防災ゼミ生徒の研究実践に向けたサポートと地域での実践場所提供  
→地域イベントにて、子ども向け防災食講座の実施。
- 進路志望理由書作成に向けた専門家、事業者の紹介&ヒアリング
- 釜石コンパス登壇講師による個別相談



### 個別プロジェクトサポート

石山友里花さん（2年）は、彼女が住む甲子町洞関地区の交流の活性化に1年次から取り組んでいます。私たち伴走者は定期的なミーティングや地域の方との接続など、様々な面から彼女を応援してきました。

今後の活動を考えていく中で、「今まで1人で活動してきたけど、他の人からもアイデアをもらいたい！」という石山さんの発案により、生徒が集まりやすい774プロジェクトで、11/26にイベントを開催し、7名が参加してくれました。さらにその中から、1年生2名がプロジェクトメンバーに加わることも決まり、一緒に活動が始まっています。



生徒と地域がつながる場としてはもちろん、生徒同士の連携を生む意味でも、774プロジェクトを生徒の活動や発表の場としても活用していくことができそうです。生徒の「やってみたい！」という気持ちに寄り添って今後も活動をサポートします。  
(文責：釜援隊 由木加奈子)